

事前の チェック

- ① 下地に動きがある場合は、十分に固定してください。
- ② 下地に応じた適切な下地処理（シーラー等）を行ってください。

■ 施工手順

1. 養生

- ① 床、枠廻りにパテ・接着剤等が付着しないように養生する。



パテ処理

2. パテ処理

- ① 下地の目地、段差、凹部をパテ処理し、下地を平滑化する。
- ② 完全に乾燥・硬化させる。



壁紙貼り

3. 壁紙貼り

- ① フリース壁紙専用接着剤「フリースタック」原液を糊付機にて壁紙裏面に均一に塗布する。
（塗布量の目安：130～150g/m²）
- ② 養生袋「カンガルー」内で、壁紙に適したオープンタイムを取った後、壁紙を下地に貼り合わせる。
- ③ ジョイント部を重ね切りする際は、下地を切らないよう「PP下敷きテープ」等を使用する。

※ 壁紙の種類や現場状況によっては、向こう糊（相手糊）で施工してください。

※ フリース壁紙でも伸縮の大きい壁紙は「フリースタック」で施工できませんのでご注意ください。

※ 再剥離性を求めない場合は、一般的な壁紙施工用でん粉系接着剤にて壁紙貼りしてください。

■ 使用商品（施工㎡数）



● フリースタック

商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
218-101	18kg	100㎡/18kg

商品名：アルギン・ド放散性等級
F☆☆☆☆
国土交通大臣認定

■ 注意事項

- ① 事前に壁紙見本帳等に記載の施工方法、注意事項をご確認頂き、試験施工された上で本施工を行ってください。
- ② 壁紙の種類や下地によっては、接着しにくい場合がありますのでご注意ください。
- ③ 使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項を必ずお読み頂き、十分ご理解いただいた上でご使用ください。
- ④ 下地に湿気がある場合は、十分に乾燥させてください。
- ⑤ 下地に汚れ、油分が付着している場合は、落としてから施工してください。
- ⑥ 施工は5℃以上で行ってください。
- ⑦ 壁紙施工後、1週間程度は急激な空調の使用は避け、自然換気に努めてください。